

5億5,500万円 3年連続の65億円超

3月定例会

3月定例会のポイント

3月の定例議会は平成29年第1回と数えます。補正予算のほか4月から始まる平成29年度予算の議決を行いました。新年度の一般会計は、学校給食センター建設に8億円、広域ごみ処理場建設に伴う負担金に6億6,600万円など、昨年に引き続き総額で65億超の大型予算になりました。新年度の予算審議は、議長を除く議員全員が委員となる予算特別委員会を立ちあげ、5日間に渡り慎重に審議を致しました。

また、平成29年度から平成33年度までの5年間に渡る村内5カ所の辺地地域に係る公共施設の総合整備計画の策定も審議しました。

定例会で審議された件数

辺地総合計画の策定他	4件
条例の制定・廃止他	14件
工事請負契約	1件
補正予算	5件
新年度予算	6件
人事案件	3件
意見書の提出	2件

篠崎久美子議員

問 職員定数条例改正について、新たな庁内組織改編の目的と具体的事業内容は。

答 0歳から18歳までの子育て支援に関する施策の事務二元化を図るため、教育委員会に子育て支援課を設置し3課制とするもので、保育園事務、児童福祉も移管する。

問 図書館施設検討委員会について、委員会設置の目的と予定時期は。

答 より充実した施設として整備するよう調査・検討を行うもの。委員は15名以内、学識経験者や保護者代表、学校・社会教育関係者、公募委員などで構成、29年度早期に立ち上げたい。

問 事務事業評価委員を総合計画等評価委員に変更する目的、担う業務内容は。

答 現在の事務事業評価方法は次年度予算編成への反映が厳しく、総合戦略の重要業績評価指標や、第5次総合計画・基本計画の目標値について、総合的な事業執行と目標値等の進捗管理について評価を行う。

問 白馬高校公営塾利用料改定の算出根拠は、予定する対象人数は。

答 月額3,000円で運用してきたが、大学進学希望者への指導は、映像資料、理系カリキュラムの必要性、時間数の増も必要で、合計約5万5,000円程度、3年生は月額4,500円程度、2年生は月額2,300円程度の必要経費分の徴収で、概ね10名程度。

問 学校共同給食センター建設の内容は。

答 鉄骨一部二階建て、建築面積は1,200㎡。白馬中学校ランチルームと渡り廊下で接続し、一部二階部分は調理状況の見学スペースを計画。内部は、汚染区域と非汚染区域を明確に区分配置。衛生基準から床は水を使わないドライシステムとし、多様なア

太田正治議員

問 学校共同給食センター建設の内容は。

答 レルギー食に対応できるアレルギー調理室を設ける計画。

問 現在の北小・南小の調理場は。

答 両校ともコンテナ配送となるため、受人施設に改修予定。

学校給食センター建設に8億円 広域ごみ焼却場建設負担金に6億6600万円

創出を目指す。また、村債は後年度の財政負担を考慮し、抑制を基調とされている。これらの観点から審査に努めた。

予算特別委員会

●平成29年度一般会計予算

予算編成の基本方針は、第五次総合計画、及び総合戦略の確実な推進、住民の声の反映、組織体制の整備と人材育成、徹底した無駄の排除による行政改革の推進、歳入の確かな確保及び新たな財源の

総務課

人材育成への取り組みは。

問 人事評価に関する研修、大北地区連携の研修も予定。

答